

## 2017年度 事業報告

公益社団法人浦安青年会議所  
2017年度理事長 田中 孝昌

スローガン 「戮力協心 ～人財が輝き続けるまち浦安～」

### 【はじめに】

2017年度は混乱の中スタートする形となりました。1月臨時総会・2月通常総会と一部例会内容を変更し、本格的なスタートは3月になり、運動に遅れが出てしまいましたが、スローガンに掲げた「戮力協心」の精神のもと一年間無事活動することが出来ました。経験豊かな人財の卒業と若いメンバーの増加とまさに世代交代の波の中、メンバーが一丸となり一年間の運動が出来たことは諸先輩方の助言や激励、関係諸団体様のご支援、ご協力のおかげと感じています。メンバーの若返りが進み、これからの浦安青年会議所を支えていくメンバーの育成と組織力の強化が課題ですが、2018年度も新理事メンバーが生まれたことは大変うれしく、また心強く思います。JCでしか出来ない経験を多くのメンバーに経験してもらい、JAYCEEとして、大人として成長してくれることを祈ります。2017年度は4委員会の構成で3例会ずつの担当とその他事業も多く、大変な負担があったはずですが。そんな中一年間やり切った委員長には賛辞と感謝の意をお伝えいたします。この経験をJC活動や人生に活かして頂くことで輝く人財となることでしょう。

### 【人財が輝くために】

楽しくなければJCではない。そんな言葉を先輩から言われていました。メンバーの若返りが進み、JCの楽しさをメンバーにはまだまだ伝えきれていない中、2017年度は多くの交流企画を開催致しました。交流企画を通してコミュニケーションを促し、委員会の垣根を超えた繋がりが生まれました。しかし、まだ参加に消極的なメンバーもおりますので楽しさをさらに伝播させる必要があるでしょう。2017年度はサマーコンファレンスを例会とし、多くのメンバーに学びの機会の提供を行いました。例会にした結果30名という多くの仲間と共に参加できました。普段とは違う場所、環境で例会を開催し、サマーコンファレンスという場を若いメンバーに知ってもらう。また、多くの学びを懇親会の場で共有する設えにすることで今後も日本青年会議所の運動にも積極的に参画していく人財に成長してくれたならば幸いです。青年会議所らしく時代を先駆ける人財として今後も活躍することを願います。

### 【子どもたちの笑顔のため】

毎年工夫をこらして開催している「わんぱく相撲浦安場所」ですが、今年度は2勝勝ち抜け方式を採用し、一度負けても諦めない強い心を醸成させることで健やかな成長を促しました。また、8月例会「いかだでGO！～親子でペットボトルいかだin三番瀬～」では親子で自然に触れ合う機会を提供し、10月例会「ドミノでGO！～3つの間で作る豊かな心～」では感受性や創造性を育むことを目的に開催致しました。目的は多々ありますが、私の考える青少年事業とは子どもたちに笑顔になってもらう事が重要と考えています。子どもたちの笑顔はやがて家族に広がり、また設営側である我々青年会議所メンバーにも広がり達成感となりJC運動への大きな原動力となったはずです。子どもたちの笑顔を見たメンバーたちが今後も、未来ある青少年のため、今後も笑顔あふれる事業を開催していくことを期待しています。

### 【本当の幸せを得るために】

本当の幸せとは何なのか？そんな難しいテーマで2017年度のまちづくり事業を2例会開催致しました。6月例会「父の日プレゼント『ハッピー×クエスト』～時間の花をみつけよう！～」では清水ハン栄治氏と影絵ミュージカルNIJIをお招きし、時間の大切さを市民の皆様へ伝え、9月例会「家族の幸せがまちの幸せ運動～私たちが進める働き方改革～」においては家族会議を提唱し、働き方の変革意識を醸成しました。しかし、ほとんどの方が会社員である中、働き方改革と言っても個人ではどうする事も出来ないのが現状です。それでも自分に出来ることは無いか。と考えて頂く機会を委員会メンバーには提供してもらえたと感じます。本当の幸せとは何なのか？一人ひとりの答えは違うかもしれませんが、でも一度立ち止まり、大切なものに気付いて頂きたい。そこに「本当の幸せ」はあるのです。

### 【浦安フェスティバル2017への参画】

2017年度、私は浦安フェスティバル2017実行委員長として出向もさせて頂きました。私の他にも直前理事長、副理事長2名にも出向をして頂きました。2月の準備会から始まった浦安フェスティバル2017ですが、昼夜の会議や協賛金集め、青森への視察と、理事長と二足の草鞋を履く形で進めていましたが、様々な機会と出会い、経験をさせて頂きました。実行委員会メンバーとも議論を重ね、進化した浦安フェスティバル2017を多くの市民の皆様へ披露したかったところ、当日は台風の接近の影響もあり一部内容を変更しての開催となりました。半年以上の月日を掛け準備してきたので非常に残念でしたが、悪天候の

中参加してくれた市民の皆様や関係諸団体の皆様には感謝の思いしかありません。また、浦安フェスティバルを通じて浦安商工会議所青年部の皆様との絆も深くなったことは浦安において少なからず良い影響をもたらすことと思います。今後も行政や関係諸団体との繋がりを大切にし、浦安の活性化に繋がれば幸いです。

#### 【新たな浦安のはじまり】

2017年度は変化の多い年でありました。その一つが新市長の誕生です。前市長の辞任により、浦安市長選挙が3月に行われました。我々、浦安青年会議所では選挙権が引き下げられ新たな選挙権を持つ若い世代に目を向けた公開討論会を開催致しました。会場を明海大学にし、学生ボランティアと共に作りあげる公開討論会として学生からの質問やアンケートを使ったデータの発表と新たな形での公開討論会を開催することが出来ました。学生の真剣な取り組みに刺激され、LOMメンバーも選挙に対し真剣に取り組む姿勢が取れたように感じます。新市長となった内田悦嗣氏は浦安JCの先輩であり、歴代理事長も務めておられます。良き相談相手として、市のリーダーとして今後もお付き合いをしていきたいと考えております。

#### 【さいごに】

理事長の職を務めさせて頂き、大変多くの経験をさせて頂きました。理事長職は決断と実行の連続です。その時にした決断が正しかったのか？正解はあるようで無い。今までの立場とは全く違うプレッシャーを感じながら一年間の活動が終了しました。私のそばにはいつも支えてくれる誰かがいました。今度は私が支える側に立ち、この浦安青年会議所を発展させなければならないと感じています。2018年度、大塚理事長のもと浦安青年会議所が更なる発展をしていくことに最大限バックアップしていきます。2018年度が素晴らしい年となることをご祈念申し上げ、2017年度の事業報告とさせて頂きます。一年間ご協力いただいた皆様に改めて御礼申し上げます。有難うございました。